

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

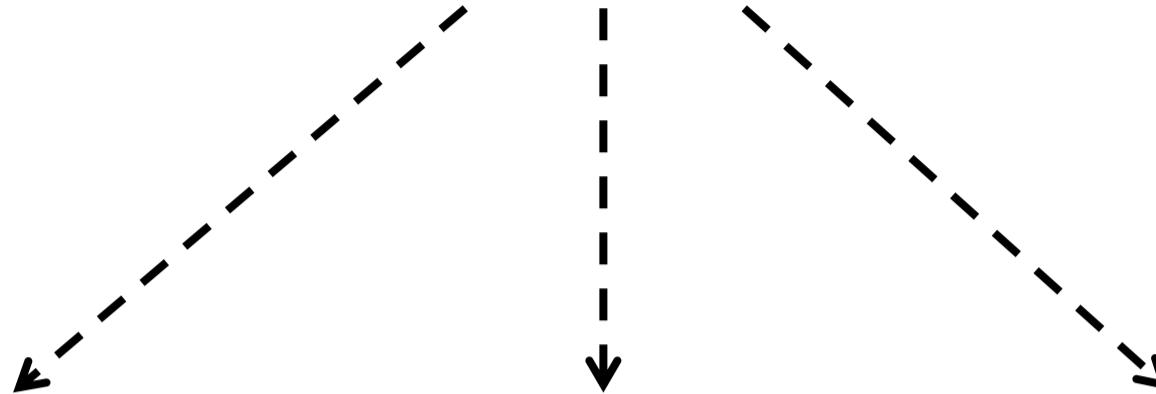
事業名	若者の「使い捨て」が疑われる企業等への対応策の強化		担当部局	厚生労働省		作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度開始		担当課室	監督課		美濃 芳郎					
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること							
根拠法令(具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	日本再興戦略							
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	① 若者の「使い捨て」が疑われる企業等が、社会で大きな問題となっていること ② 日本再興戦略において、若者の活躍推進の観点から「過重労働や賃金不払残業など若者の『使い捨て』が疑われる企業について、相談体制、情報発信、監督指導等の対応策を強化する」とされていることを踏まえ、若者の「使い捨て」が疑われる企業等への取組を強化する。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	夜間・休日に労働基準法などに関する電話相談を受け付ける、常設のフリーダイヤル電話相談「労働条件相談ダイヤル(仮称)」を設置する。 また、労働基準法などの基礎知識・相談窓口をまとめた「労働条件相談ポータルサイト(仮称)」を厚生労働省ホームページに設置し、労働者に対する情報発信を行う。 さらに、大学等でのセミナーを全国で開催することにより、法令等の情報発信を行う。										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他										
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求					
		当初予算					200				
		補正予算									
		繰越し等									
	計					200					
	執行額										
執行率(%)											
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)				
	①「労働条件相談ダイヤル(仮称)」は、個々の相談の内容に応じ、必要なものについては、関係機関に適切に取り次ぐ。		成果実績	%	—	—	—				
	②「労働条件相談ポータルサイト(仮称)」を利用した結果、有用であった旨の回答の割合を80%以上とする。		達成度	%	—	—	—				
	③大学等において実施するセミナーの受講者に対しアンケートを実施し、80%以上から有用であった旨の回答を得る。		成果実績	%	—	—	—				
	③大学等において実施するセミナーの受講者に対しアンケートを実施し、80%以上から有用であった旨の回答を得る。		達成度	%	—	—	80				
	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	①「労働条件相談ダイヤル(仮称)」において、1月平均2,000件以上の相談を受け付ける。		活動実績(当初見込み)	件	— (—)	— (—)	— (2,000)				
	②「労働条件相談ポータルサイト(仮称)」へのアクセス件数を、1月平均15,000件以上とする。		活動実績(当初見込み)	件	— (—)	— (—)	— (15,000)				
	③大学等でのセミナーを全国で21回以上開催する。		活動実績(当初見込み)	回	— (—)	— (—)	— (21)				
単位当たりコスト	(円/相談受付件数)		算出根拠	平成26年度「労働条件相談ダイヤル(仮称)」委託事業実績額 ÷ 平成26年度相談受付件数							
平成26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由							
	委託費	—	190								
	消費税	—	10								
	計	—	200								

事業所管部局による点検										
	項目	評価	評価に関する説明							
国費 必要 投入性 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	若者の「使い捨て」が疑われる企業等については、各方面でその存在と対策の必要性が指摘されており、広く国民のニーズがある。また、こうした企業等の存在は、労働基準関係法令の履行確保等にも関わる問題であることから、国費により対策を講じる必要がある。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	上記のとおり、労働基準関係法令の履行確保等に関わる問題であり、国がその対策を行う必要がある。							
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	平成25年6月14日に閣議決定された日本再興戦略において、「若者の『使い捨て』が疑われる企業について、相談体制、情報発信、監督指導等の対応策を強化する。」とされており、優先度の高い事業である。							
事業 の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	—							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業により、長時間労働・過重労働の解消、健康障害の防止が図られる。本事業は、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。							
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	—							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	電話相談を行うアドバイザーへの謝金や通話料、ポータルサイトにおけるコンテンツの作成費などが主な経費であり、必要なものに限定されている。							
事業 の 有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低成本で実施できているか。	—	—							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	—							
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—								
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名							
点検 結果	—									
	外部有識者の所見									
点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見										
—	本事業は、「若者使い捨て」が疑われる企業等を取り締まる事業であり、広く国民のニーズがあり、優先度が高く、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
—	—									
備考										
関連する過去のレビューシートの事業番号										
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—					

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
(200百万円)

事業管理、受託者への指導等



A. ○○○○○○

B. ○○○○○○

C. ○○○○○○

〔「労働条件相談ダイヤル(仮称)」の設置〕 〔「労働条件相談ポータルサイト(仮称)」の設置〕 〔 大学等での法令等の周知啓発〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行つ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.○○○○○○○			E.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	「労働条件相談ダイヤル(仮称)」の設置	一			
	計	0	計	0		
B.○○○○○○○			F.			
費目			費目			
使 途			使 途			
金 額 (百万円)			金 額 (百万円)			
委託費						
計			計			
C.○○○○○○○			G.			
費目			費目			
使 途			使 途			
金 額 (百万円)			金 額 (百万円)			
委託費						
計			計			
D.			H.			
費目			費目			
使 途			使 途			
金 額 (百万円)			金 額 (百万円)			
計			計			

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					